

しげの かわら版

編集発行：滋野地域づくり推進委員会
／企画課企画政策係

～ “しげの里づくりの会” 設立にむけて①～



1月29日（火）、滋野コミュニティセンターを会場に総勢 31 名の参加により、第 13 回滋野地域づくり推進委員会が開催されました。

この度、滋野地区内 10 区の新区長を新たな委員としてお迎えしたことにより、推進委員会の委員数は 34 名から 44 名となりましたが、これは昨年「区長」というお立場で委員会に参加された皆さん全員が、任期によって交代されてもなお、新組織設立までは引き続き委員会に残ってくださったことによって実現したものです。“滋野を何とかしたい” という、皆さんの熱意には本当に頭の下がる思いです…。

推進委員会は、いよいよ今回の会合から、本年 4 月に発足を目指す「しげの里づくりの会」の準備ための話し合いに入りました。

この準備とは、各団体が連携して地域力を高め、地域課題を解決していく仕組みづくりを始めるにあたっての、滋野地区における市民活動のいわば“道しるべ”となる「滋野地区地域づくり計画」



を立案していく取り組みです。

この滋野地区の住民が共に歩いていくための“道しるべ”となる「地域づくり計画」には、“これから滋野地区の地域活動を進めていくうえで、皆が一番大切にしなければならないことはなんだろう”といった「基本理念」や“滋野地区の未来はこうなってもらいたい”という「滋野地区の目指すべき将来像」、さらには“理想の滋野を実現するためには何をしなければならないのか？”という「事業計画」を描いていくものとしています。



“計画づくり”第1回目のこの日は、10年後の滋野地区を見通して、現状のまま何もしていないでいってしまうであろう“成り行き滋野”（マイナス）と、将来はこうなってほしいという“理想の滋野”（プラス）の2つの将来像について話し合いが行われ、さまざまな意見が出されました。

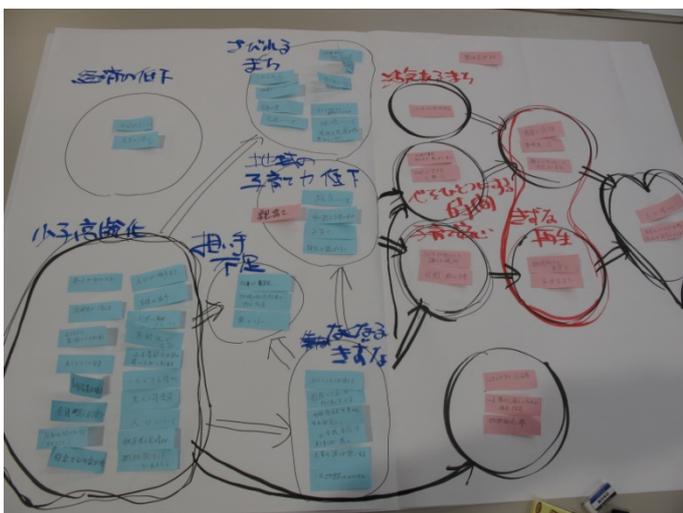
次回の話し合いは、この内容をさらに話し合っ、滋野の「地域課題」を整理し、今の滋野には何が足りないのかといったことまで深く掘り下げようということになりました。



ワークショップによって、皆で意見を出し合い、まとめました。

“ワークショップ”とは？

→簡単に言うと“誰か一人に頼るのではなく、みんながみんなの意見を出し合い、まとめたものづくりをする”ということです。



次回は、2月25日（月）午後7：00～滋野コミュニティセンターで開催されます。委員ばかりでなく、皆で考えていく必要があると考えています。地域づくりに関心のある方は是非、ご参加ください。

考えようみんなで、しげの地区の未来を！
はじめようみんなで、しげの地区の活動を！